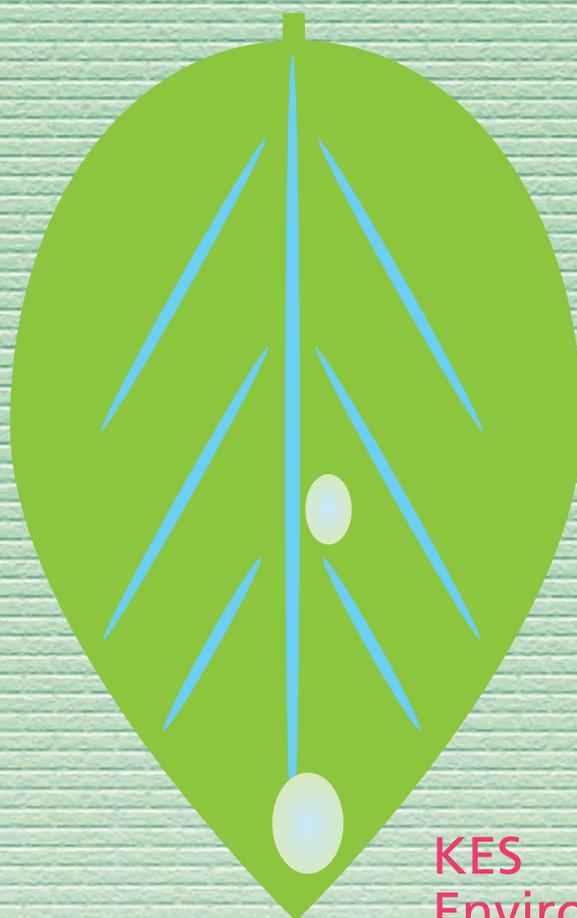


はじめよう、環境経営

小さなコストで、大きな成果



KES
Environmental
Management
System
Standard



特定非営利活動法人
KES環境機構

はじめてみませんか KES



地球温暖化や環境汚染など、地球規模の環境問題には、産業界も大きく関わっています。環境問題を解決するためには、あらゆる規模・業種の企業が、環境や人類の将来を考えた事業活動を行っていくことが大切です。

地球温暖化防止京都会議・COP3が京都市で開催されたことがきっかけで、市民、事業者、行政が協力して立ち上げたパートナーシップ組織の「京のアジェンダ21フォーラム」において、企業の90%を超える中小企業が

環境に配慮した事業活動に取り組みやすい仕組みとして考案したものが「KES」です。

KESは、2007年4月2日付で「京のアジェンダ21フォーラム」から「特定非営利活動法人 KES環境機構」に引き継いで運営されています。

全国で約20カ所の協働機関においても審査登録活動を行っています。

皆さん、KESを始めてみませんか。

KESの特色 | KES(KES・環境マネジメントシステム・スタンダード)は、環境への負荷を管理・軽減するとともに環境経営の推進にも有効な仕組みです。

■ 取得にかかるコストが安く、わかりやすい。

企業や自治体・学校・家庭など、あらゆる規模・業種の組織で取り組みます。

■ 段階的に取り組める二つのステップがある。

環境問題に取り組み始めた段階を想定した**ステップ1**、将来「ISO14001」の認証取得を目指して取り組む段階で、「ISO14001」と同じような要求項目を設けた**ステップ2**があります。

KESを審査・登録すると…

1. 省エネ・省資源・リサイクルなどにより、コストダウンできる。
2. 環境にやさしい企業として認定され、取引等も有利になる。
3. 企業の社会的責任の証明になる。
4. 環境管理体系(PDCA)が経営管理にも応用できる。
5. 法規制順守に対応できる。
6. 従業員の環境意識が高まる。

1事業所あたり、年間約11tのCO₂削減効果

2001年から2011年9月までの間にKESを審査・登録し、電気、ガスなどエネルギーの効率的使用に取り組んだ1,124事業所(環境改善活動実績が1年以上あるもの)で、取組初年度1年間に削減されたCO₂の合計は、年間11,920t分になります。1事業所あたり約10.6tの削減となります。(調査月2011年9月)

●KESの取組によるCO₂削減効果

	電力	都市ガス	プロパン	ガソリン	灯油	重油
削減量	2,368万kWh	198ton	39ton	430kl	104kl	601kl
CO ₂ 換算	8,454ton	426ton	117ton	993ton	260ton	1,664ton
取組事業所数※	1,043	68	17	213	17	40

※複数の取組をしている事業所を含む

●KESの取組手順と取組内容 (ステップ1・ステップ2)





京都KES | KES1-1101

真宗大谷派 東本願寺

<http://www.higashihonganji.or.jp/>

真宗大谷派(東本願寺)では、親鸞聖人の御真影(木像)を安置している御影堂の修復をおこない、この事業を機縁として、環境問題への取り組みを進めてきました。

私たちは、私と、私を取り巻く環境の一つひとつは決して切り離すことができるものではなく、当然、環境問題もまた、私の外にあるものと切り離して考えら



れるものではないこと。つまり、環境の中に生きる私たちは、環境と断絶して生きることができないため、そういう意味で環境問題とは、私たちの外の世界の課題でありながら、私たち自身の「内なる」課題でもあることを見つめなければならないと考えました。

自らを見つめ、自身の立つ場所、姿勢を確認する中で「環境問題」に取り組むことが肝要なのだ。私と私を取り巻く環境を切り離すことなく見つめる眼差しをとおして、「環境問題」とは何かということ、今一度、自分自身に問いかける機縁を、このたびの修復事業からいただいたのではないかと思います。

具体的な活動としては、修復工事において瓦の葺き替えを中心に行いましたが、その瓦を廃材としないよう古瓦の再利用や瓦を加工して駐車場の舗装材として再資源化を行うなど、環境配慮型をコンセプトとして修復事業に取り組んできました。さらには御影堂の修復事業と並行して「東本願寺と環境を考

える市民プロジェクト」という東本願寺を拠点にした自然観察会やお堀探検など、環境をキーワードに地域とお寺の交流を深めるための地域コミュニティ作りを展開しています。

このような取り組みを進める中で、改めて宗派での環境問題に対する意識を高め、その学びと実践により様々な成果が生み出されることを願いとして、KESステップ1を取得しました。今後も、職員一人ひとりが意識的に環境問題に向き合い、広く柔軟な観点での歩みを進めていきたいと願っています。



京都KES | KES2-0149

株式会社 京都テクニカ

<http://www.kyototechnica.co.jp/>

当社は、半導体製造関連の装置・機器の受託生産を中心に事業を行っています。

2005年9月にKES・ステップ2を取得して以来、環境活動をはじめ6年が経ちました。

KESに取り組んで間もない頃は、環境改善という意識ばかりが先行した取り組みになっていましたが、2008年にISO9001を認証取得してからは、環境改善・品質改善と業務改善の関わりを考慮し、不良やムダの削減、生産効率向上といったテーマにも取り組んできました。

例えば、不良削減の取り組みは品質の取り組みでもあります。本来必要のない作業をなくすという面では、電力や資源のムダをなくし、環境改善につながる取り組みであるという捉え方をしております。

また、生産効率アップのための工数削減の取り組みも、同じものをこれまでよりも短時間で生産することで、一個当たりにかかる消費電力を削減する取

組みにもなります。

さらに、これら環境・品質の取り組みは最終的にコスト削減につながり、KESの考え方にも合致した活動ができていると考えております。

今後も環境改善活動は難しいものだと捉えるのではなく、業務改善の一環であるという捉え方で継続的に取り組んでいきたいと考えております。

環境改善テーマの変遷

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011年
電力削減	電力削減			クリーンベースコンプレックスの電力削減		電力削減	
コピー用紙削減	コピー用紙削減					コピー用紙削減	
廃棄物削減	産廃削減		部材再利用促進	経路の削減			
不良・クレーム削減			A製品			クレーム削減	C製品
製品開発			省エネ製品開発	開発製品の改善			
部材対応	選定基準制定	RoHS対応強化	環境影響評価				
コスト削減				加工部品		B製品組立工数削減	
在庫削減				継手部品			
環境教育		環境教育実施	外部教育参加			コミュニティ参加	

京都KES | KES2-0235

関西電気保安協会京都支部

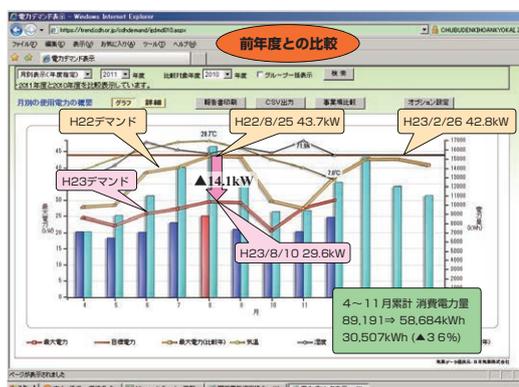
<http://www.ksdh.or.jp/>

当協会の京都支部は、自らの環境負荷低減に努め、お客さまの環境負荷低減への助言・支援することを意図し、06年1月よりKESステップ2に取り組んでいます。

環境管理重点テーマのうち、「電力使用量削減の推進」については、設備の運営上の工夫では限度があったため、国土交通省の補助金を受け、点灯時間の長い照明器具をLED照明への更新(既存の照明器具を使用してLED化)、日射調整フィルムの張り付け及び老朽化している空調機を省エネ機器への取替えしました。空調機には、当協会のデマンド監視システムを使用した空調自動制御システムを導入しています。なお、導入前後のデータを見える化し、お客さまの省エネの取組にも役立てております。

今後は、KES活動をより一層充実させ、お客さまにヨシ、職員にヨシ、社会にヨシの三方ヨシで地道

に活動を継続して、地球環境負荷低減に努めていきたいと考えています。



導入前後のデータ比較

電力全体:最大デマンドは14.1kWの削減(▲32%)、消費電力量(4月~11月実績)30,507kWhの削減(▲36%) (図参照)
照明回路:LED照明への更新で、最大デマンドは約4kWの削減。

2011年度 環境管理重点テーマ

- (1) お客さまの電力使用量削減の提案
- (2) 技術センターの電力使用量削減の推進
- (3) 技術センターの水道使用量削減の推進
- (4) エコドライブの実施
- (5) 事業所周辺の清掃等啓発活動の定着

